

# 玩具の世界

## 松本節太郎作品展

平成12年5月1日(月) ~ 5月5日(金)

午前10時~午後7時 但し初日は午後1時から最終日は午後6時まで

入場無料



会場: 柏市民ギャラリー

柏駅西口 柏高島屋ステーションモール8階

柏市教育委員会

アート・ウォーク実行委員会

共催

日本各地には、風土にはぐくまれた郷土の玩具が数多くあります。それらの玩具は、子供たちのみならず大人たちにとっても生活に深く根ざしたものとして親しまれ、季節ごとの行事において大きな役割を果たしてきました。

柏市にも戦後松本節太郎さんが作り始めた「下総玩具」があり、愛好者には高い評価を得ています。松本さんの玩具も行事に華を添えるものとして次々に様々な物が生み出されてきました。

松本さんの作品で代表的なものが、下総首人形と呼ばれる土人形です。西遊記、十二支、七福神、動物シリーズ、その他、昔柏あたりの水戸街道を往来した人々の風俗を写したものなど数多くのテーマがあります。いずれも手でひねる「てびねり」という手法で作られ、それに絵の具で顔を書き、竹の串に刺したものです。それをさらに藁束に刺し、柱や壁に

吊り下げられるようにしてあるのが特徴となっています。

松本さんの作品は、誰もが微笑んでしまうような独特でかわいらしい童顔とカラフルな色彩でどれも個性に満ちあふれ、一目でそれと分かります。

松本さんは、97歳になり、今年の春に第一線を退く決意を固められました。

これを契機とし、また2000年の子供の日を記念して「下総玩具の世界 松本節太郎展」を開催して、松本節太郎さんの作ってこられた様々な下総玩具を一同に展示し、皆様に玩具の生き生きとした表情を楽しんでいただくとともに、ふるさと柏の「こころ」をご理解していただけたら幸いと存じます。



### 松本節太郎氏略歴

明治36年1月29日

東京下谷で染物屋の4男として生まれる。

昭和20年

東京都葛飾区で戦災に遭い柏に疎開。

戦後ふと土製の人形を作ってみようと思い立ち、裏山の粘土で手びねりして、即製のかまどで焼き、泥絵の具で彩色してみると意外と面白い十二支や七福神の首人形が出来た。

昭和23年頃

首人形をリュックにつめ上野の松坂屋前で街頭販売する。その後も浅草や亀戸天神、明治神宮境内などでも売ったが暮らしが豊かになるには程遠く、戦後9年間はランプ生活が続く。

昭和33年1月

日本郷土玩具の会会員となる

昭和63年4月

第1回ヌーベル文化賞受賞

平成4年12月

第1回下総玩具展

平成9年10月

柏駅西口歩道橋の側壁にアート・ウォーク実行委員会の提案で小面約85点が設置される。

平成12年2月

高齢に伴い廃業を決意。第一線から退く。

